

3M、2020年第1四半期の業績を発表

当資料は、3M社（本社：米国ミネソタ州、NYSE:MMM）が2020年4月28日（現地時間）に発表した報道資料を和訳したものです。

第1四半期のハイライト

- 売上高は前年同期比 2.7%増加して 81 億ドルに
- 既存ビジネス※（Organic local-currency sales：事業売却や買収を除いた既存ビジネス）の現地通貨建ての売上高は前年同期比 0.3%増加
- 米国の GAAP ベースの一株当たり利益は 2.22 ドル、調整後の一株当たり利益は 2.16 ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは前年同期比 16%増の 12 億ドル、調整後のフリーキャッシュフローは前年同期比 40%増の 9 億ドル
- COVID-19 の影響や市場の不透明性を踏まえ、2020 年通期予想を撤回

3Mは2020年第1四半期の業績を発表しました。

マイク・ローマン会長兼最高経営責任者は次のように話しています。

「かつてないほど困難なこの時期に、96,000人の皆さんがCOVID-19との闘いに力の限りを尽くされていることは、私の深く誇りとするところです。3M Mer 全員の多大なご尽力に改めて感謝いたします。私たちは、手持ちのリソースを総動員することに加え、医療従事者や応急対応者向けの個人用保護具の生産数量を急ピッチで増やすなど、あらゆる角度からパンデミックに挑んでいます。

3Mのビジネスは幅広く、また多様性に富むことから、COVID-19の財政的なインパクトは各々の事業部や部門で異なります。第1四半期には、安全衛生製品以外に、パンデミックにより需要が高まっている他の事業分野でも力強い成長が見られました。その反面、パンデミックの抑え込みに向けて各国で取られた措置による影響が大きかった市場では、需要が低迷しました。今後も、3Mは社員、お客様、株主の皆様との約束を果たしながら、短期的な不確実性を克服する対策、強力なキャッシュフローを生み出す対策、そしてこの景気低迷から抜け出すための対策を着実に実施していきます」

COVID-19への対応、ビジネスへの影響

3Mは、米国および世界各国における個人用保護具のプロバイダーという重要な役割を念頭に、COVID-19のパンデミックに積極的に対応してきました。今年の初めから、以下のような取り組みを進めています。

- パンデミックへの率先した対応
 - 製造ラインの拡大等による個人用呼吸保護具の増産

-
- 全世界での個人用呼吸保護具の月間生産数量を1億枚に倍増（うち約3,500万枚を米国内で生産）
 - 個人用呼吸保護具の生産数量をさらに倍増するため設備投資を増額
 - 医療従事者を保護する革新的なソリューションの開発に向けた提携

 - 最重点地域への供給を優先
 - 全世界の個人用呼吸保護具の生産数量の大部分を医療従事者へ即座に振り替え
 - 官公庁や流通業界の提携先と共同で製品を医療従事者へ急送
 - 米政府、FDA、HHS、DoD、FEMAと緊密に協力して個人用呼吸保護具1億6,650万枚を米国内に輸入

 - 価格の不当な引き上げ、詐欺・偽造行為への対応
 - 特約店や官公庁と協働して安全なサプライチェーンを確保
 - パンデミックの発生後も呼吸用保護具の価格を据え置き
 - N95呼吸用保護具の価格を公表、価格の不当な引き上げや詐欺・偽造行為へ対応するためホットラインを開設
 - 国や地方の法的機関と協力して米国内とカナダで訴訟を提起

 - 救援・復興活動の支援を通じて地域社会をサポート
 - 最前線で活動する医療従事者や、COVID-19の影響を受けやすい脆弱な集団、ならびに医療研究の取り組みに対し、2,000万ドルの経済的支援を実施

COVID-19の感染拡大は、3Mのビジネスにさまざまな形で影響を及ぼしています。安全衛生製品、ホーム・インフルエンザ、クリーニング製品、フードセーフティ製品、バイオ医薬品製造向けフィルターなどの市場では力強い需要が見られました。その一方で、ソーシャルディスタンス対策や屋内退避勧告のために需要が大幅に低減した市場もあります。例えば、歯科用製品、オートOEM、およびアフターマーケット、一般工業と製造業、コマーシャルソリューションズ、文具・オフィスなどがそれに該当します。

3Mは現在の状況への対応を迅速に進めており、3Mのビジネスを危機からの脱却を成功させるカギと位置付けながら、短期的なインパクトを軽減することに注力しています。3Mが実施している対策には、以下のようなものがあります。

- 社員の保護
 - 1月にグローバル・クライシス・アクション・チームの結成
 - 可能な限り在宅勤務の推進、グローバルにおける職場の安全規定の見直し
 - 種々のパンデミックサポートプログラムの実施

 - 事業継続の担保
 - グローバルなエンタープライズオペレーションズ組織の新設による高度なカスタマーサービスの維持
-

-
- 顧客/市場の需要低迷や政府の指令に応じた計画的な操業停止など、現状に即した対応の継続
 - 影響が特に深刻な事業について短期有給休暇の計画的な実施

● 財務的柔軟性の確保

- 社員への影響を最小限に抑え、コストダウンを積極的に推進：2020年第2四半期の削減額を3億5,000万ドル～4億ドルと予測
- 資本配分計画の調整：既存ビジネスへの投資および配当の優先、自社株買いプログラムの一時停止
- 2020年通期の設備投資予定額を当初の16億ドル～18億ドルから13億ドル程度に圧縮
- 2020年3月の債券発行による現金17億5,000万ドルの追加
- 2020年第2四半期のドラッグデリバリーシステム売却完了からの税引き後利益を4億ドルと予測

通期予想の撤回について

COVID-19のパンデミックが及ぼす影響の深刻化や不透明性から、3Mの幅広い市場がいつまでにどの程度まで回復するか、正確性をもって推定することが困難になっています。こうした事情により、2020年1月28日発表の2020年通期の予測については、撤回することが妥当であるとの結論に至りました。今後は、5月より販売情報を月次ベースで報告することで、3Mの営業実績に対する透明性を確保してまいります。

第1四半期の業績

売上高は前年同期比で2.7%増加して81億ドルでした。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、前年同期比で0.3%増加し、買収・事業売却による増加が4.2%、外貨換算の影響による売上高の減少は前年同期比で1.8%でした。

ビジネスグループ別の売上高は、ヘルスケアで21.0%、コンシューマーで4.6%増加しましたが、セーフティ&インダストリアルで1.0%、トランスポーターション&エレクトロニクスで5.0%減少しました。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、コンシューマーで6.1%、セーフティ&インダストリアルで2.2%、ヘルスケアで1.2%増加しましたが、トランスポーターション&エレクトロニクスで3.0%減少しました。

地域別の売上高は、米州で10.1%増加しましたが、EMEA（欧州、中東、アフリカ）で2.1%、アジア太平洋地区で5.4%減少しました。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、米州で4.2%増加しましたが、EMEA（欧州、中東、アフリカ）で1.7%、アジア太平洋地区で4.4%減少しました。

第1四半期のGAAPベースの一株当たり利益は前年同期比で47%増加して2.22ドル、営業利益は17億ドル、営業利益率は20.6%でした。

特別な項目を除くと、第1四半期の調整後の一株当たり利益は、前年同期から2.7%減少して2.16ドル、営業利益は17億ドル、営業利益率は20.8%でした。

営業活動によるキャッシュフローは12億ドル、調整後のフリーキャッシュフローは9億ドル、調整後のフリーキャッシュフローコンバージョンは74%でした。

3Mは、第1四半期に8億4,700万ドルの配当を実施し、3億6,500万ドルの自社株買いを行いました。

第1四半期のビジネスグループ別の業績

セーフティ&インダストリアル

- 売上高は、米ドル建てで1.0%減少して29億ドルでした。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は2.2%増加し、外貨換算の影響による売上高の減少が2.2%、事業売却による減少が1.0%でした。
- 既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、
 - 安全衛生製品、ルーフィンググラヌルズ（屋根用砂粒）、テープ・接着剤製品で増加しましたが、クロージャー・アンド・マスキング製品、電力マーケット、オート・アフターマーケット、研磨材製品で減少しました。
 - 米州、EMEA（欧州、中東、アフリカ）で増加しましたが、アジア太平洋地区で減少しました。
- 営業利益は前年同期比で14.0%増加して7億2,600万ドル、営業利益率は24.7%でした。

トランスポーターション&エレクトロニクス

- 売上高は、米ドル建てで5.0%減少して22億ドルでした。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は3.0%減少し、外貨換算の影響による売上高の減少が1.3%、事業売却による減少が0.7%でした。
- 既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、
 - エレクトロニクスで増加、化学製品、トランスポーターションセーフティで横ばい、コマースソリューションズ、自動車産業システムで減少しました。
 - 米州、アジア太平洋地区、EMEA（欧州、中東、アフリカ）で減少しました。
- 営業利益は前年同期比で7.3%減少して4億8,400万ドル、営業利益率は21.6%でした。
- 調整後の営業利益は前年同期比で7.1%減少して4億8,200万ドル、調整後の営業利益率は21.5%でした。

ヘルスケア

- 売上高は、米ドル建てで 21.0%増加して 21 億ドルでした。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は 1.2%増加し、外貨換算の影響による売上高の減少が 1.8%、買収による増加が 21.6%でした。
- 既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、
 - ドラッグデリバリーシステム、フードセーフティ製品、医療用製品、フィルター製品で増加しましたが、ヘルス・インフォメーション・システムズで横ばい、歯科用製品で減少しました。
 - 米州で増加しましたが、EMEA（欧州、中東、アフリカ）、アジア太平洋地区で減少しました。
- 営業利益は GAAP ベースと調整後のどちらも 4 億 5,600 万ドルで、前年同期から GAAP ベースで 1.7%、調整後ベースで 0.7%減少しました。営業利益率は 21.7%でした。

コンシューマー

- 売上高は、米ドル建てで 4.6%増加して 13 億ドルでした。既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は 6.1%増加し、外貨換算の影響による売上高の減少が 1.5%でした。
- 既存ビジネス※の現地通貨建ての売上高は、
 - ホーム・インフラメント、ホームケア、コンシューマーヘルスケアで増加しましたが、文具・オフィスで減少しました。
 - 米州で増加しましたが、アジア太平洋地区、EMEA（欧州、中東、アフリカ）で減少しました。
- 営業利益は前年同期比で 14.5%増加して 2 億 6,900 万ドル、営業利益率は 21.4%でした。

Forward-Looking Statements This news release contains forward-looking information about 3M's financial results and estimates and business prospects that involve substantial risks and uncertainties. You can identify these statements by the use of words such as "anticipate," "estimate," "expect," "aim," "project," "intend," "plan," "believe," "will," "should," "could," "target," "forecast" and other words and terms of similar meaning in connection with any discussion of future operating or financial performance or business plans or prospects. Among the factors that could cause actual results to differ materially are the following: (1) worldwide economic, political, regulatory, capital markets and other external conditions and other factors beyond the Company's control, including natural and other disasters or climate change affecting the operations of the Company or its customers and suppliers; (2) risks related to public health crises such as the global pandemic associated with the coronavirus (COVID-19); (3) liabilities related to certain fluorochemicals, including lawsuits concerning various PFAS-related products and chemistries, and claims and governmental regulatory proceedings and inquiries related to PFAS in a variety of jurisdictions; (4) legal proceedings, including significant developments that could occur in the legal and regulatory proceedings described in the Company's Annual Report on Form 10-K for the year ended Dec. 31, 2019, and any subsequent quarterly reports on Form 10-Q (the "Reports"); (5) competitive conditions and customer preferences; (6) foreign currency exchange rates and fluctuations

in those rates; (7) the timing and market acceptance of new product offerings; (8) the availability and cost of purchased components, compounds, raw materials and energy (including oil and natural gas and their derivatives) due to shortages, increased demand or supply interruptions (including those caused by natural and other disasters and other events); (9) unanticipated problems or delays with the phased implementation of a global enterprise resource planning (ERP) system, or security breaches and other disruptions to the Company's information technology infrastructure; (10) the impact of acquisitions, strategic alliances, divestitures and other unusual events resulting from portfolio management actions and other evolving business strategies, and possible organizational restructuring; (11) operational execution, including scenarios where the Company generates fewer productivity improvements than estimated; (12) financial market risks that may affect the Company's funding obligations under defined benefit pension and postretirement plans; and (13) the Company's credit ratings and its cost of capital. Changes in such assumptions or factors could produce significantly different results. A further description of these factors is located in the Reports under "Cautionary Note Concerning Factors That May Affect Future Results" and "Risk Factors" in Part I, Items 1 and 1A (Annual Report) and in Part I, Item 2 and Part II, Item 1A (Quarterly Reports), as updated by applicable Current Reports on Form 8-K. The information contained in this news release is as of the date indicated. The Company assumes no obligation to update any forward-looking statements contained in this news release as a result of new information or future events or developments.